

【2023 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
高齢者福祉		(社) 必修 (理.作.精.発.福.人) 選択	2	(理.作.社.精.発) 2.3 (福.人) 2	前期	
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー		
間嶋 健	B312	ken.majima		水曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	<p><目的> 高齢者福祉領域における制度や社会サービスの概要を把握し、当該領域のソーシャルワーク活動に必要な知識や支援方法を学習する。</p> <p><概要> Teams を使用した同時双方向型授業で、高齢者福祉における対象者理解や、支援に必要な制度・社会資源を説明する。特に介護保険制度については実践現場の視点(活用性、有用性等)から解説する。</p>					
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	<input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク
学習上の助言	高齢福祉分野に関連するニュースなど日常の中で関心を持つようになしてください。					
教科書	最新 社会福祉士養成講座 2 高齢者福祉/編：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版					
参考書	特になし。					
外部教材	特になし。					
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針			
①	高齢者の生活実態について、社会情勢等との関連から説明できる。		HSU(1)、HC(1)、(2)			
②	高齢者福祉の歴史と理念について説明できる。		HSU(1)、HC(1)、(2)			
③	介護保険制度の概要について説明できる。		HC(1)、(2)			
④	高齢者に対する関連諸制度について説明できる。		HC(1)、(2)			
⑤	高齢者支援におけるソーシャルワーク専門職の役割について説明できる。		HC(1)、(2)			
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	オリエンテーション(本科目の意義、受講時の約束、講義の進め方、成績評価、他)を行う。	同時双方向型授業	シラバスを読んで全体像を把握して行く。	4		
2	高齢者と少子高齢社会について学習する。	同時双方向型授業	教科書の該当章を精読する。	4		
3	高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境について学習する。	同時双方向型授業	教科書の該当章を精読する。	4		
4	高齢者福祉の歴史と理念について学習する。	同時双方向型授業	教科書の該当章を精読する。	4		
5	介護保険制度の概要①について学習する。	同時双方向型授業	教科書の該当章を精読する。	4		
6	介護保険制度の概要②について学習する。	同時双方向型授業	教科書の該当章を精読する。	4		
7	介護保険サービスの体系①について学習する。	同時双方向型授業	教科書の該当章を精読する。	4		
8	介護保険サービスの体系②について学習する。	同時双方向型授業	教科書の該当章を精読する。	4		
9	高齢者に対する関連諸制度①(老人福祉法)について学習する。	同時双方向型授業	教科書の該当章を精読する。	4		
10	高齢者に対する関連諸制度②(高齢者医療確保法)について学習する。	同時双方向型授業	教科書の該当章を精読する。	4		
11	高齢者に対する関連諸制度③(高齢者虐待防止法など)について学習する。	同時双方向型授業	教科書の該当章を精読する。	4		
12	高齢者と家族等の支援における関係機関や専門職の役割～多職種連携とパートナーリズム～	同時双方向型授業	教科書の該当章を精読する。	4		
13	高齢者と家族等に対する支援の実際①～客観的視点と寄り添う技術～	同時双方向型授業	教科書の該当章を精読する。	4		
14	高齢者と家族等に対する支援の実際②について学習する。	同時双方向型授業	教科書の該当章を精読する。	4		
15	高齢者福祉領域で働く・活躍する。	同時双方向型授業	教科書の該当章を精読する。	4		
試	定期試験を実施する。 達成度評価・評価のポイントを参照する。					

【2023 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	0	0	0	50	100
総合力指標	知識・技術力	30	0	0	0	20	50
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	30	30
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	期末試験を実施する。期末試験では、①～⑤について、知識の観点から正誤を判断する問題を出題する。				試験の正答を Teams にて公開する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	講義内容の要約と感想をリアクションペーパーとして提出する。理解度を確認し意欲的に学ぶ姿勢を評価する。				内容について講義中にフィードバックする。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	社会福祉士資格取得後 20 年の実践経験を有する。						
実践的授業の内容	各制度や社会資源について、実践現場での活用性や有用性などの視点から解説する。高齢者福祉の概念の理解にあたっては、実践的な事例を活用し現場感覚を涵養する。						
そ の 他	【履修についての条件】 ＊社会福祉士国家試験受験を希望する者は必ず履修すること。 【受講する際の注意事項】 ＊Teams を使用した同時双方向型授業を行う。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。 ＊今後の新型コロナウイルス感染症の状況など、社会情勢によってシラバスの変更があり得る。						